

四季の里

センター便り

No. 1 令和2年4月24日（金）発行

〒601-0715 京都府南丹市美山町下宮ノ上ミ14-1
山村留学センター「四季の里」
TEL : 0771-77-0232 FAX : 0771-77-0279
E-Mail : miyamasanryu@cans.zaq.ne.jp
HP : <http://www.cans.zaq.ne.jp/miyamasanryu/>

ご挨拶

南丹市内の皆様には、山村留学センターの運営に格別の御支援を賜り厚く御礼申し上げます。山村留学も二十三年目を迎えることとなりました。

四月五日には五名の入所式を執り行うことが出来ました。(新規四名継続一名)子供達はこの地に大きな夢を求め、希望に満ちあふれ入所してくれました。一年間の間、子供達には多くの体験や冒険をさせてやりたいと思います。今、新型コロナウイルス感染予防のため、新学期から小学校も臨時休校となっており、センターで一日暮らしております。今後とも更なる山村留学に御理解頂き、格別の御支援を賜ります様お願い致します。

令和二年四月

南丹市美山山村留学運営委員会

運営委員長 澤田 利通

令和2年度 第23期生入所式



4月5日、山村留学第23期生の入所式が執り行われました。全国的に新型コロナウイルス感染関連のニュース一色の昨今、センターに於いても22期生の退所式同様家族と里親さんのみの少なさみしい入所式となりましたが、新規4名継続1名の5名は元気いっぱいこの一年間の目標を発表してくれました。今年度の山留生の特徴は大阪府から三名、愛知県と和歌山県から各一名と他府県からの子供たちばかりで京都府からの子供は一人もいません。先月から続いている学校の休校もいつ終わるのか先が見えない状況ですが、子供達が元気で楽しく過ごせるようスタッフ一同全力で支えていきますので、地域の皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

シイタケの菌打ち

4月6日、山村留學生毎年恒例のシイタケの菌打ちをしました。昨日が入所式で今日は山村留學生生活二日目。始業式までにはまだ二日ありますが、子供たちは早くも意気投合して、みんなで助け合って菌打ちをしました。大半が女子なので、「ちよつと大変かな」と心配したのですが、金づちや木づちでみんな上手に打ち込んでいました。



新学期の始まり

4月8日、今日は始業式、待ちに待った新学年の始まりです。今日から慣れないスクールバスでの通学です…と、言いたいところですが新型コロナウイルス感染予防のための休校が続いています。今は始業式と登校日の数日だけですが早く毎日学校へ行きたくて、みんな“うずうず”しています。



里親さん巡り



4月7・14日、肌寒い雨の日の続く中、久しぶりの晴れ間を利用して23期山村留學生たちがこれから一年間お世話になる里親さん宅や駐在さんに新しい名簿を持ってご挨拶に行つて来ました。残念ながらお留守のお家もあったのですが、みんなで「一年間よろしくお願ひします」と、大きな声で元気に挨拶をし、里親さんからは「みんなで遊びにきてね」と、暖かい言葉を掛けて頂きました。みんな里親さんのお家に行けるのを楽しみにしています。各地区の駐在さんには登下校などでお世話になりますが、どうぞ一年間宜しくお願いします。

休校中の子供たちの様子

4月8日の始業式以降、学校が休校となり山村留学センターに来たばかりの子供たちの生活も「どうなることやら」と心配しましたが、やっぱり子供たちはたくましいです。入所式当日は室内でトランプやオセロゲームをしたりおとなしく過ごしていたのですが、翌日からひとたび外に出だすとジェイボードや自転車で走り回り、自分たちで何やら怪しい？遊びを見つけて一日中遊んでいます。また、センター周辺の地区を歩いて満開の桜を楽しんだり、大野ダムに車で行って、広場を走り回ったり元気いっぱいです。コロナウイルスが一日も早く終息して学校へ行ける日が来ることを心から願うばかりです。(みんな宿題もガンバっていますよ！)



第23期生《僕の・私の》目標



山村留学第23期生

ユメ

トワ

マホ

ナオ

モエ

- 5年 亀田 十羽 マラソンを頑張つて体力をつける。
きそく正しい生活をする。
- 5年 花田 真穂 朝は自分で起きる。朝マラソンを頑張つて走る。
ちゃんと片付けをする。
友達をいっぱい作る。
- 5年 田仲 ゆめ センターでみんなのお手本になれるように頑張る。駅伝に出れるように頑張る。
- 4年 松代 萌恵 友達となかよくして、自分の気持ちを伝えられるようになりたい。
- 3年 柑本 奈穂 センターのみんなと仲良く過ごしたい。

お母さんの一人言

桜の花も満開、今年は特別にきれいな様に思えます。さて山村留学二十三年目、五名の子供達を迎えスタートしました。新型コロナがまだ終息の気配がなく残念乍ら学校に行くことが出来ず、この先どうなるのかとても不安ですが、幸いなことに子供達は毎日楽しそうに大声でしゃべったり笑ったりと元気に過ごしてくれています。コロナウイルス深く考えてもどうする術もありません。一日一日無事暮らせることを祈るしかないのでしょうか。